

ACEF

ニュースレター

2026年7月 ②

7月以降のスケジュール

7月24日（金）20:00-21:00 ライシャワー学園からお話を聞く会

8月8日（土）～19日（水）バングラデシュスタディツアー

10月10日（土）午後 ACEF秋のセミナー

10月17日（土）～18日（日）Global Festa Japan 2026

もくじ

- ・【巻頭言】ACEFのスタディツアーと今の私（小名木勇人さん）
- ・【活動報告】
 - ① 7月18日（土）尊厳カフェとACEF Youthミーティングが実施されました
 - ② 7月13日～16日 たくさんの方が事務局ボランティアに来てくださいました！
- ・【コラム】「学校へ行くこと」と「学び続けること」～BDPインタビューから見たバングラデシュの教育現場～
- ・【今後の計画・予定】
 - ① 8月8日～19日 夏のバングラデシュスタディツアー開催
 - ② 7月24日（金）20:00-21:00 ライシャワー学園からお話を聞く会（ACEF Youth X SCF企画）
 - ③ 10月10日（日）ACEF秋のセミナー（日程が確定しました🎵）
- ・【ACEF事務局からのお知らせ】
 - ① 夏の事務局在室状況
 - ② 2025年度年次報告書発送のお知らせと夏期募金のお願い

<巻頭言> ACEFのスタディツアーと今の私

「ACEFのスタディツアーで最も印象に残っているのは、「人とのつながり」です。参加前は、途上国と聞くと貧困や治安の悪さといった側面ばかりをイメージしていました。しかし実際にバングラデシュで生活を共にすると、人々は互いに助け合い、地域全体で支え合いながら活気ある暮らしを営んでいました。困難な状況の中でも笑顔を絶やさず、人とのつながりを大切にする姿勢は、私にとって大きな衝撃でした。この経験は、現在の私に二つの大きな影響を与えています。一つ目は、自ら積極的に人と関わり、周囲を支える姿勢の重要性を実感したことです。現代社会では個人の価値観が尊重される一方で、人は一人では生きていくことはできません。

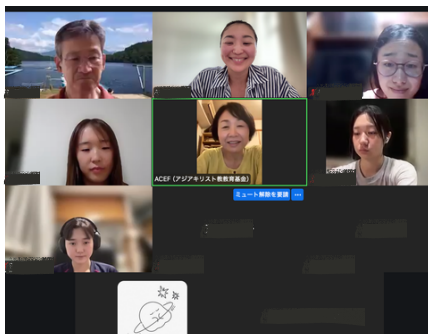
人間は不完全な存在だからこそ、互いに助け合い、支え合うことで社会が成り立っています。スタディツアーで出会った人々の姿から、まずは自分から声をかけ、困っている人がいれば自然と手を差し伸べられる人間でありたいと考えるようになりました。二つ目は、開発協力に対する考え方が大きく変わったことです。大学で開発を学ぶ中では、資金援助や経済支援の重要性に目が向きがちで、途上国の発展が進まない背景を単純に捉えてしまうこともありました。しかし現地では、多くの人々が懸命に働き、限られた資源の中で工夫を重ねながら生活している姿を目の当たりにしました。



その経験から、開発協力は単なる資金提供ではなく、人材育成や技術移転、そして現地の文化や価値観を尊重した支援が不可欠であることを学びました。支援する側の思い込みや偏見ではなく、現地の人々に寄り添い、ともに課題を解決していく姿勢こそが、持続可能な開発につながると考えるようになりました。このスタディツアーは、途上国に対する見方だけでなく、人との関わり方や国際協力に対する考え方を大きく変えた経験です。現在でも、人とのつながりを大切にしながら物事を考え、相手の立場や文化を尊重して行動することを常に意識するようになっていきます。」

(2025年春のスタディツアー参加者、小名木勇人さん)

<活動報告>



① 7月18日(土) 尊厳カフェとACEF Youthミーティングが実施されました
今月の尊厳カフェでは、子ども向け尊厳プログラムについての振り返りをしました。また、その後のYouthミーティングでは、ACEF理事であり東洋英和女学院中高部・副部長の野村正宣さんにゲストとしてお話しいただきました。8月はスタディツアーのため、尊厳カフェとYouthミーティングはお休みです。次回は、9月19日(土) 19:15～尊厳カフェ、20:00～Youthミーティングです。

② 7月13日～16日 たくさんの方々が事務局ボランティアに来てくださいました！

7月13日、14日、15日には、女子聖学院翠耀会のメンバー10名以上が、夏の発送作業のお手伝いに来てくださいました。皆さん慣れた手つきで、いつもは事務局スタッフがしている作業まで最終日はやっていただき、大助かりでした！また、16日のボランティアデーには今年のスタディツアー参加者をはじめ、多くの皆さんが作業をしてくださいました。初対面の方も多く、最初は自己紹介、その後バングラの話やスタツアなどの話を皆さんで楽しみながら、作業を進めることができました。また、バングラデシュ出身の方との交流もあり、実際にベンガル語を覚えてもらいました。皆さん、本当にありがとうございました！



「学校へ行くこと」と「学び続けること」－BDPインタビューから見たバングラデシュの教育現場－

「教育費に関する支援としては、2010年から「政府による無償教科書の配布が行われていることが紹介された。以前は購入しなければならなかった教科書も、現在は政府から提供されているという。また、公立の小学生を対象とした月額150タカの給付金や、成績に応じて受給できるVIRTI奨学金についても説明があった。このように、学校給食、無償教科書、給付金、奨学金など、事前調査で確認していた公的支援の多くは現場でも認識されており、実際に運用されていることが分かった。

一方で、インタビューを進める中で、私が当初想定していなかった課題も見えてきた。公的支援の存在が確認できたにもかかわらず、BDPのスタッフからは、中等教育の継続をむずかしくする要因についても多くの話が聞かれた。インタビュー前の私は、学校へ入るための支援に注目していた。しかし話を聞く中で、進学そのものよりも、その後も学び続けられるかという問題の方が大きいのではないかと感じるようになった。」(次号につづく)(ICU2年、小林泉さん)



<今後の計画・予定>

① 8月8日～19日 夏のバングラデシュスタディツアー

今年のスタディツアーは、16名の参加者が2グループに分かれてBDPスクールなどを訪問します。グループ1は、ツアーリーダーの山口旬さんと共に、ジャマルプールへ。グループ2は、柳原さつき事務局長とともに、ネトロコナへ。参加者の事前準備、またツアー中の健康や安全のため、そして一人ひとりにとって実りのあるツアーとなるようにお祈りください。

② 7月24日（金）20:00-21:00 ライシャワー学園からお話を聞く会（ACEF Youth X SCF企画）

東京都町田にある、特別支援学校「きこえの学校 ライシャワー学園（聾学校）」の取り組みについてお話を聞き、特別支援と尊厳について考える企画です。参加にご興味のある方は、ACEFユースの尊厳チームまでご連絡ください（担当：山宮、dignity-wg@acef.or.jp）。ZOOMのリンクを共有いたします。ライシャワー学園について→ <https://nrg.ac.jp/>

③ 10月10日（日）ACEF秋のセミナー 【日程が確定しました♪】

毎年秋のお楽しみ、ACEF秋のセミナーが今年も実施されます。夏のスタディツアーや、バングラデシュと関わりのあるキャリアを積まれたプロフェッショナルをお招きしたいと、ACEF事務局が準備を進めておりますので、ぜひお楽しみに！

<ACEF事務局からのお知らせ>

① 夏の事務局在室状況

スタディツアー中、またツアー終了後も柳原事務局長が現地に一週間ほど残るため、8月はしばらくの間対応が通常より遅くなる場合がございます（特に8/10～8/13）。ご不便をおかけいたしますが、順次対応いたしますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

② 2025年度年次報告書発送のお知らせと夏期募金のお願い

2025年度の年次報告書が完成し、夏期募金のお願いと共に、会員と寄付者の皆さまにお送りいたします（郵送／メール添付）。今年度もバングラデシュの子どもたちの教育支援と日本の若者の育成を柱とした国際協力活動を続けていきたいと思っております。今年も夏期募金へのご協力をお願いいたします。

※報告書類は、ACEFのホームページからもお読みいただくことができます。

【皆さまからのご寄付の活用方法】

- ・学びを中断した子どもたちへの就学支援や補習授業の実施
- ・日本の学生が現地を訪れ、共に学び合うスタディツアーの実施
- ・現地教員への研修や教材支援を通じた教育の質の向上
- ・バングラデシュのスラム地域・農村地域にある校舎の改修と整備
- ・上記事業に関わるBDPスタッフ・教師の給与

◎郵便振替

記号・番号：00100-0-185540

加入者名：アジアキリスト教教育基金

◎銀行口座

銀行・支店：三井住友銀行高田馬場支店

口座・番号：普通口座 4568618

講座名義：トクテイイリカトウホウジソジアキリストキョウイクキン

銀行・支店：三菱UFJ銀行高田馬場支店

口座・番号：普通口座 1543149

講座名義：トクテイイリカトウホウジソジアキリストキョウイクキン

◎クレジットカード Webサイトをご覧ください

<https://acef.or.jp/your-menu/donate/>

（恐れ入りますが、手数料をご負担ください。）

